

●元気ショップの売り上げ状況について

昨年12月に、地下鉄大通駅コンコースにオープンした「元気ショップ」の売り上げが、1月29日に、今年度目標としていた1000万円を突破しました。その後も順調なペースを保ち、既に1300万円を超える売り上げとなっています。

これは、パンやクッキーなどの食品が人気を保っていることに加え、クリスマスやお正月、バレンタインデーなど時節に合わせた商品を取りそろえていることや店舗の立地条件が大変良く市民の目にも止まりやすいことなどが主な要因として考えられます。

今後も、お客さんのニーズに合わせて商品を充実させ、今年度中の売り上げ2000万円達成を目指します。

1 売り上げ実績

(2月16日現在)

月	購買者数	売上金額	1日当たりの平均購買者数	1日当たりの平均売り上げ
12月	10,584人	6,052,071円	365人	約209,000円
1月	8,527人	4,424,449円	294人	約153,000円
2月	5,134人	2,714,293円	321人	約170,000円
計	24,245人	13,190,813円	328人(平均)	約178,000円(平均)

※ パンやクッキーなどの食品のほか、時節ごとにそろえた商品（雪まつり期間中では雪だるまをモチーフにした商品など）が売れ行き好調です。また、2月に入ってから、ひな祭り関連商品に加え、北海道のお土産となるような商品が人気です。



<売り上げ好調な食品>



<雪だるまをモチーフにした商品や土産物>



<ひなまつり関連商品>

2 売り上げが好調なことによる効果

「元気ショップ」を設置した一番の目的である工賃*の引き上げが達成されたほか、障がいのある方々が作った製品を多くの市民に買ってもらうことにより、障がい者の活動に対する理解が深まりました。また、「元気ショップ」の存在が作業所等で働く障がい者の励みとなり、より一層売れるものを作ろうと工夫や努力を重ねています。

※ 売り上げの90%（残り10%は販売手数料）を作業所等に支払い、各作業所等は、原材料費等を差し引いた分を作業員に工賃として支給。「元気ショップ」の設置により、1人当たりの工賃が月に1万円以上アップした施設もありました。

3 来年度の取り組み予定

来年度は、製品のレベルアップや新商品の開発、販路等についてアドバイスを希望する作業所に対し、市場経済に精通した経営コンサルタントや民間企業等の製品開発経験者等を派遣する予定となっています。

4 関連福祉ショップ

2月1日に、道内各地の施設や作業所などで制作された工芸品等を販売する「ライラックパセオ福祉コーナー」が「福祉ショップいこ〜る」として、JR札幌駅西コンコースにリニューアルオープンしました。「北海道さっぽろ『食と観光』情報館」に隣接していることから人通りも大変多く、開店以来、日々の売り上げがリニューアル前の約2倍となっています。

「元気ショップ」と併せて、より一層、工賃の向上による障がい者の自立支援を図るとともに、障がいのある方々の活動に対する市民の理解を深めていきたいと考えています。

<参 考>

「福祉ショップいこ〜る」の売り上げ実績

(2月16日現在)

月	購買者数	売上金額	1日当たりの平均購買者数	1日当たりの平均売り上げ
2月	1,082人	881,910円	72人	約59,000円(約28,000円※)

※ リニューアル前の1日当たりの平均売り上げ



<福祉ショップいこ〜る>

問い合わせ先

札幌市保健福祉局障がい福祉課 木俣・菊田

電話: 211-2936